

2025年度

佐賀大学学校推薦型選抜Ⅰ試験問題

教育学部

学校教育課程

(小中連携教育コース)

小論文

解答上の注意事項

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 「解答始め」の合図があったら、解答紙の所定欄に受験番号、氏名を記入すること。
- 3 問題の解答は、別に指示がある場合を除き、所定の解答欄に記入すること。
- 4 問題について、疑問がある場合は、手を挙げて質問を行うこと。
- 5 問題紙、下書き用紙は持ち帰ってはならない。
- 6 その他、監督者の指示に従うこと。

「問」

以下の文章を読んで、情報通信技術発達の功罪を考察しながら、膨大な情報化社会に生きる子どもたちに、どのような情報教育を行っていきたいと考えるか、800字以内で述べなさい。

現代は情報通信技術の影響が現実社会に対して極めて大きくなってきた時代です。このような状況の中で、どのような変化が世の中に生じてきたのでしょうか。

まず最も大きな点として情報通信技術の中で関わり合う人々の範囲が大きく、かつ多様になってきたことがあげられます。この章の最初の項で「同質の社会には、ある程度共通した基準が存在している」と書きました。人と人とが関わり合う社会が小さな時代には、その中で規範である倫理を共有することは比較的簡単だったといえます。しかし、情報通信技術が発達して多くの人々が相互にコミュニケーションをとることが簡単になってきた今日、宗教も価値観も異なる多くの人々が同じ社会の中で行動することも珍しくありません。このような状況の中では、広い範囲の多様な人々が共に共有できる倫理が必要となるのは自然でしょう。

2 つめに情報技術が日常生活に与える影響の範囲が大きくなったことがあげられます。私たちの日常生活は様々な技術のネットワークに支えられており、それらに部分的であってもトラブルが生じた場合には、社会全体が大きく不便な状況にならざるをえません。特に最近の十数年のインターネットの発達と普及は、情報に関する個人の環境を大きく変えてきています。今や誰もが日本にいながらにしてアメリカ政府の公文書を閲覧することも、EUで構築されているデジタル文化遺産の検索システム、Europeanaのデータを利用することもできます。また、情報の閲覧と利用だけではなく、情報の発信に関してもWebページの発達、ブログの出現、そしてX(Twitter)やFacebookなどを通じて、1人の個人が数百万人に対して容易に情報を提供することができるという時代になってきています。このような状況は現在では当たり前であっても、ほんの十数年前には考えられもしなかったことといえるでしょう。

3 つめは、個人が他人に与える影響の大きさが拡大したことがあげられます。情報発信を誰もが簡単にできるようになったことは、他人に対する大きな影響力を持つようになったといえることもできます。下手をすると個人の発信する情報力の方がマスコミを超える場合さえあります。すなわち、X(Twitter)では国境を越えた地域に居住する人々がフォローとなることもありえます。もちろん依然としてマスコミの情報発信力が上回る局面は多いですが、このような地域を越えた到達性という意味では放送局よりも新聞よりも多くの人々に情報を届けることができるともいえるのです。

また、発信する内容についても従来とは大きく変わってきています。マスコミを通じてのみ多くの人に対する情報発信が可能であった時代、新聞に投書するにしても図書を出版するにしても、マスコミによる情報の取捨選択というものが有効に機能していました。しかし、Web ページを通じての情報公開の場合は無制限ではないまでも、従来よりもはるかに自由に情報発信を行うことができます。

中略～

このような情報通信技術が発達した時代に対応した倫理として情報倫理はまさに今、求められているといえるでしょう。

出典:『情報倫理 ネット時代のソーシャル・リテラシー』

高橋慈子・原田隆史・佐藤翔・岡部晋典 著、技術評論社 2020 年 pp17-19 より一部抜粋修正した。